

地元商店、商店街、中小企業の営業とくらしをまもるため、消費税10%撤回の声を国に反映すると同時に実効ある中小企業振興条例に改定してほしい。



<東住吉民商会長 浅野さん> 駒川商店街も入れ替わりが激しく大変だ。消費税10%は完全に撤回し、庶民の所得が増えていくような政策を。リフォーム助成を実行してほしい。

<区企画課長> ご意見があったという事を担当局に伝える。



天王寺大和川線計画の実現に向けては、住民の声を広く聞く場を頻繁に開催するなど、区役所としても積極的に対応してほしい。



<中森さん> 「風かおる道」なので緑豊かな緑道にするというのが当初の計画だった。この地図を見ると緑が非常に少ない。説明会をすると行ってしていない。

みんなの合意で決めたことが、計画案では全く違うものが出てきている。  
<事業調整担当課長> 私の方からも建設局の方には強く言うておく。

ふれあい食事サービス・ネットワーク推進委員など地域活動協議会の活動資金を拡充してほしい。



<河田さん> 地域で女性部と総務部の担当をしている。今は予算の関係で、お味噌汁を作る時の人数が限られている。回覧物の配布や募金を集めたり、役所の下請け機関みたいなこともしていると

自分は感じている。  
<保健福祉課長> 食事サービスを運営されている方の負担が増しているという事も事実だ。努力していきたい。

高すぎる国民健康保険料、非情な滞納処分はやめ、国保料の引き下げ、減免の拡充をしてほしい。



<竹村さん> 健康保険料などが非常に高すぎて、払えない方が相当いる。滞納整理は非常に強硬な立場で、差し押さえをやってきている。前に回答があったように、もっときっちり相談にのるべきではないか。

<窓口サービス課長> 相談にのるよう努めていくが、やはり払える資力があるならばそこは払っていただく。ご理解いただきたい。



# 子どもたちの安全を守り、豊かな成長を保障し待機児童解消をはかる抜本的対策を

## 待機児童の解消・認可保育所の大増設で

江川議員

吉村市長の公約を実現しようと思ったら、少し低めにみて、今年2000名、来年2000名の加算がないと実現しない。予算で言えば今年度と来年度、認可保育所で20カ所ずつ。それだけの補正予算、土地の利用も含めて必要。

吉村市長

入所できてない利用保留児童数、これを平成30年4月の段階でゼロにしたいというのが、私の思い。都心部において適切な物件がない、賃料が高いというような個別事情も生じてきているが、あらゆる手法を尽くして枠の拡大を目指していきたい。

江川議員

本年度少し増加されているが、それでは間尺に合わない。今、女性の社会進出という事で男女共働きというのが社会のすう勢である。そのためには民間の認可保育所はもちろん、やはり公立の保育所を増設するような、そういった時期に来ているのではないかと。

江川議員

また基本的には認可保育所に入れなくて、やむをえなく認可外に入所されている方が多数である。認可外というのは資料にもある通り、設置基準は当然劣悪なところであり、安全安心の面も、子どもの発達にも極めて大きな問題をはらんでいる。



教育こども委員会で質疑する江川議員

吉村市長

どうして認可外を選ばれているのか、認可保育所を希望されているのか、実態調査をしている。

## 保育士不足の解消・抜本的処遇改善を

江川議員

民間給与より11万円低い給与。給料が悪いのに責任は重くなっていく。抜本的処遇改善を吉村市長としても後押ししているという姿勢を見せてもらいたい。また大阪市独自としても、かつてのように給与改善するよう強く求めておく。



教育こども委員会で答弁する吉村市長

詳細は江川しげるのホームページより